

# ePass1000ND



## ドライバレス USB トークン

- ドライバのインストール作業が不要ですぐに利用可能
- SDK(開発キット) 付属のプライベートAPIを利用する事で Web認証システムを容易に構築可能
- PIN番号(暗証番号)とUSBトークンによる 二要素認証を実現



## PCに接続するだけで利用できるドライバレスUSBトークン

多くのインターネット環境ではIDとパスワードによる簡単な認証を行っています。ID/パスワードは簡単に共有でき、また、憶測も可能で、近年ではID/パスワードの不正利用による被害が多く報告されています。その為、ID/パスワード認証を強化するデバイスの必要性に迫られています。ePass1000NDはドライバのインストールが不要<sup>(\*)</sup>でPCと接続するだけで利用可能なため、ユーザーにとって便利で使いやすいセキュリティデバイスです。管理者・開発者は付属のSDK(開発キット)を利用する事で、様々なWeb認証システムのセキュリティを強化することができます。

\*デバイスドライバのインストールは不要ですが、トークンを管理するプログラムはPC側に必要です。

## ePass1000ND

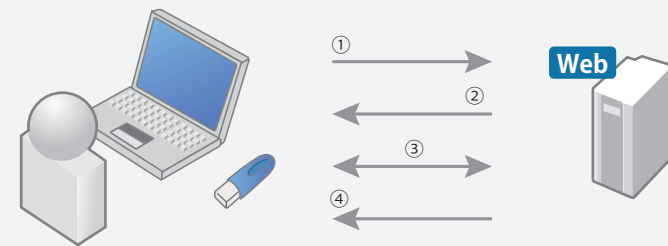
ePass1000NDはASP/CGI/Delphi/Java/VB/VCなどの言語に幅広く対応し、チャレンジ&レスポンス認証などのWeb認証ソリューションを構築することができます。また、ePass1000NDはOSの標準ドライバを利用するので、アプリケーションとの親和性が高いのも特徴です。認証方式は、USBトークンのみによる認証、USBトークン+PIN番号、ID/パスワード+USBトークンによる認証など様々な認証方式を実現できます。

### ご利用方法と主な機能

#### 1. チャレンジ&レスポンス認証

ePass1000NDはID/パスワードよりも強固なセキュリティを実現するチャレンジ&レスポンス認証を容易に実現できます。

新規でセキュアWebサイトを構築する際以外に、既にID/パスワードを利用しているWebサイトからの移行も容易に行えます。



#### チャレンジ&レスポンス認証による接続方法

- ① Webサイトへログインの試行
- ② WebサーバーはクライアントPCにUSBトークンが接続されているか確認
- ③ USBトークンが接続されていれば、USBトークンとWebサーバー間でチャレンジ&レスポンス認証を実行
- ④ 認証を行えたPCのみ接続を許可

\*MDSIによるハッシュ計算のデータのみネットワーク上で送受信されるのでパスワードなどの盗聴を防ぎます。

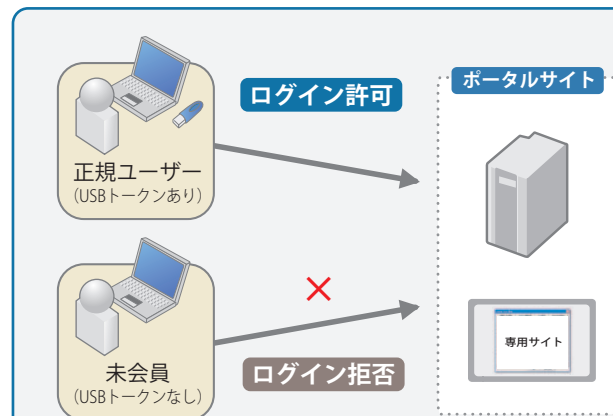
#### 2. ドライバレス

ePass1000NDはドライバレスUSBトークンで、PCに接続するだけですぐに利用できます。

## ePass1000NDの製品特徴

- OS標準ドライバを利用するのでアプリケーションとの高い親和性を実現
- PIN番号/ID+パスワード/ハードウェアIDなどによる様々な認証方式をサポート
- オンボードで暗号化計算(MD5ハッシュ計算)を実行可能
- ASP/CGI/Delphi/Java/VB/VCなどの言語に幅広く対応
- ID/パスワードを利用しているWebサイトから容易に移行可能

## 導入例



ePass1000NDを利用すれば会員制Webサイトなどで二要素認証(PIN番号+USBトークン)を容易に実現することができます。また、ePass1000NDはドライバレスなのでPCに接続するだけで利用でき、利便性を損なわずにセキュリティを大幅に強化することができます。

## 製品仕様

	ePass1000ND
サポートOS	32bit : Windows 2000, XP, 2003, Vista, 2008, 7, 8 64bit : Windows XP, 2003, Vista, 7, 8 Linux
対応標準	PKCS#11, MS CAPI, X.509 v3 Certificate Storage, SSL, IPSec / IKE
内蔵暗号化アルゴリズム	HMAC-MD5, TEA
API	Microsoft Crypto API (CAPI) PKCS#11
内蔵プロセッサ	8bit CPU チップ
内蔵メモリ	8KB (EEPROM)
書き換え寿命	100,000回以上
メモリデータの保存期間	10年以上
コネクタ	USB 1.1 / 2.0, Connector type A
インターフェイス	HID
消費電力	250mW 以下
動作温度	0°C~70°C
保存温度	-20°C~85°C
保存湿度	0~100% (結露なきこと)
認定	RoHS, CE, FCC

詳しくは、WEBサイトでもご覧頂けます。 <http://www.ftsafeco.jp/>